

おはようございます。夏休みが終わり、元気に爽やかに登校してくるみんなの姿を見て、私は今、新鮮な“わくわく”を感じています。やっぱ学校っていいなと、嬉しい気持ちでいっぱいです。

さて、今年の夏休みも、頑張るみんなの様子が先生たちの連絡網で逐一回ってきました。中体連で東海大会に歩を進めた陸上部の伊藤叶翔さんと安藤胡桃さん、全国大会に出場したソフト部の今瀧惺音さん。努力が見事な成果に変わりましたね。お見事でした。この3人の他にも、中体連に参加した人たち全員の健闘ぶりに、私はあらためて拍手を送りたい。同じく学校の代表として英語スピーチコンテストに出場した小川獅童さんの努力と主体性にも拍手を送りたい。みんなよく頑張りました。

また、陶の祇園祭や稲津の夏祭りには大変に多くの皆さんがボランティアに参加しました。稲津町夏祭りには、なんと全校生徒の3分の1ほどの人数が参加。花火の後の早朝清掃でも、少なくとも1年の正村駿太郎さん、2年の白井仁さん、熊澤峻さん、濱田倅輔さんの姿が確認できました。他にも参加していた生徒がいたらゴメンナサイ、ぜひ名乗り出てください。さらに先日には、稲津のペンギン児童クラブから「夏休み中に島倉弦大さんと濱田倅輔さんがいろいろと手伝ってくれて本当に助かった。ありがとうございます」というお礼の電話をいただきました。私は、そんな皆さんの主体性とボランティア精神に、同じ人間として敬意を表します。皆さんのことを本当に誇らしく感じます。「なんか南中ってすごいね。勢いがあるね」とは、ある学校の校長先生のお言葉です。いろんなことに楽しみながら主体的に取り組む皆さんの気持ちが、理屈抜きで周りに伝わっています。

さて、そんな皆さんに負けず劣らず、夏休み中には先生方も教室環境整備や授業準備や、これからある行事に向けての準備・計画等に精力的に取り組んでいました。私は、そんな先生方に対し、「1cmの主体性 ～与えられる存在から与える存在へ～」という合言葉を大切にしながら話をしました。どんな場面でどんな行動をし、自分をどう役立てるか、先生方一人一人もまた、主体的に考え続けるようお願いしたのです。するとですね、たとえば一番の若手である西尾先生。西尾先生って、間違っても筋肉ムキムキではありませんよね。でも、役員として参加した中体連の大会で、片手に4つのパイプ椅子をもち、率先して片づけをしていました。合言葉通り、主体的に自分を役立てようとする姿です。西尾先生は西尾先生なりに、「与える立場」となれるよう主体的に考え行動したんだと思います。尊い姿です。

皆さんもまた、まわりの役に立つんだという気持ちを大切に、主体的に行動し続けてください。今後には体育祭や合唱祭やオープンスクールといった大きな行事があります。地域行事も多く、先ほど触れたボランティアの機会も多くあります。合言葉「1cmの主体性 ～与えられる存在から与える存在へ～」を実現させる場、活躍の場が目白押しと言えそうです。

また、2年生は職場体験学習があり、3年生は進路決定の時期を迎えます。後期になれば、皆さんは新たな役割にも挑戦します。どれもこれも自分の未来に繋がることばかり。だから「こんなふうになりたい、こんなふうになりたい」という理想や夢を高らかに、わくわくしながら掲げましょう。頑張る君たちを、先生たちは引き続き応援し続けます。わくわくの詰まった毎日の先には、君たちの明るい未来が必ず待っています。

以上、楽しく有意義な学校生活の再スタートをここに宣言し、私の話を終わります。ご清聴ありがとうございました。